

## 「チーム志向越境型アントレプレナー育成(CBEC)プログラム」 特別専門学修プログラム 履修届 作成上の注意事項

### ■プログラム概要

カリキュラムは、下記の3本柱から構成されている。

- ① デザイン思考の基礎を身につけ、PBLによって実践を行う、デザイン思考にもとづく「もの・ことづくり」ピラー（青の柱）
- ② 営業戦略・組織、社会起業、製品設計・開発、リーダーシップ、ファイナンス、マーケティングサイエンスなど、アントレプレナーとして必要となる知識の習得を目的とする、アントレプレナー育成に焦点を当てた「MBA関連科目」ピラー（黄の柱）
- ③ 単なるもの・ことづくりにとどまらず、ビジネスプランにまで昇華させる、具体的な事業計画の作り方、ベンチャー起業家やベンチャーキャピタリストによる具体的なケースに関する講義、およびメンターによる起業指導などからなる、「アントレプレナーシップ論」ピラー（赤の柱）

### ■プログラム修了要件

下記の要件を満足した場合、本プログラムを修了したものと認定する。

- ① 「もの・ことづくり」ピラー（青の柱）
  - ・デザイン思考基礎(A or B)は必須科目(2単位)
  - ・エンジニアリングデザイン応用(EDA)、エンジニアリングデザインプロジェクト(EDP)から4単位以上を修得
- ② 「MBA 関連科目」ピラー（黄の柱）
  - ・MBA 関連科目より6単位以上を修得
- ③ 「アントレプレナーシップ論」ピラー（赤の柱）
  - ・アントレプレナーシップ論は必須科目(2単位)

### ■履修にあたっての注意事項

「EDA」ならびに「EDP」は講義受入れ人数に制限があるため、希望者多数の場合、履修できない可能性がある。「EDA」ならびに「EDP」は ESD コース開講科目であるため、①ESD コース学生②CBEC 履修登録学生の順に優先的に受講許可するが、CBEC 履修登録学生が多数の場合は選抜を行う。

CBECプログラムのうち「青ならびに赤の柱」科目群は1Qと2Qで開講される。CBECのベース概念である「デザイン思考基礎」と、チーム編成で動く「EDA」ならびに「EDP」の授業をまずは修得するためにも、4月履修スタートが理想ではあるが、秋季入学生、留学予定のある者等他、4月からの履修が難しい場合については、**必ずプログラム履修前に「チーム志向越境型アントレプレナー育成(CBEC)」プログラム連絡・担当教員の指導を受け、履修計画を立てること。**

不明な点については、連絡教員(因幡准教授)に問合せのこと。その場合、事前にメールでの予約が必要である([inaba.k.ag@m.titech.ac.jp](mailto:inaba.k.ag@m.titech.ac.jp))。

■指導教員の署名捺印

上記をすべて把握したうえで、申請書に指導教員の署名捺印をもらうこと。

■提出先／提出期限

・CBEC 事務室:大岡山西9号館W棟3F301号室／ポスト番号:W9-120／内線:3475

・CBEC 運営会議に諮るため **2020年5月13日まで**とする。

■他の必須提出書類

本プログラムの履修届のほかに、教務課大学院グループに**履修様式第15号「特別専門学修プログラム履修申請書」**を提出する必要がある。この書類の提出がないと、CBEC プログラム修了単位を修得していても大学よりCBEC 修了証書の発行がなされない。

履修様式第15号は教務 Web システムよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ指導教官の署名捺印をもらうこと。

同書類は本プログラム主査である妹尾教授の署名捺印も必要となるため、**指導教官の署名捺印後に本プログラムの履修届とともに CBEC 事務室に提出**すること。妹尾教授の署名捺印の後、CBEC 事務室経由で大学院教務課に提出する。

以上